

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と長寿を促そう	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用革新を加速させよう	10 人や国ごとの豊かさの差をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つぶやみを減らそう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正な社会と法をたもたせよう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
学友を連れてSDGsと関する名のプログラムや学生事業に参加する。その参加プログラムで単位認定としての直接的な利点や、就活での評価に直結するような将来的な利点を得る。それによって、SDGs=良いこと、のようにプラスイメージを自分のみでなく、身の回りにいる人と共に根付けていくことだと思う。				●													
LGBTQ、いわゆる性的マイノリティについて近年でかなり周知されるようになったと思うので、それについてみんなと考える、なぜ差別がなくならないかの問題提起をする					●												
ご飯を残さない。ポイ捨てをしない。	●	●	●			●	●			●	●	●		●	●		
節電を心がける。ごみの分別やりサイクルをする。食べ残しを減らし、食品ロスを減らす。		●					●						●				
ボランティア活動でも地域の清掃活動でも、実際に社会と関わる活動をするのが口だけではない自分自身がSDGsでもその他の分野でも自身が取り組める行動だと思った。	●	●														●	
節電やごみの分別を徹底すること、食品ロスを減らすこと、そしてSDGsについて関心を持ちつづけることが大切だと思う。							●			●	●	●					
しっかり税金を納めて使われるべきところに税金を使ってもらうことです。						●											
貧困層のための募金活動や、ボランティア活動。発展途上国の現地の人に先進国の知識を伝える。																	
選挙に行く	●	●	●	●		●	●	●	●	●				●	●	●	
節電をしたりフードロスを減らす。ニュースやネット記事を読み出来るだけ多くの貧困に関する情報を取り入れて関心を深め知り合いに共有する。	●	●					●					●	●		●		
貧富の差で困っている人もいるということを理解して、食品などのロスを減らす。節電やリサイクルなどで環境にいい行動をする。	●			●						●						●	

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 健全な食生活と栄養	3 健康と長寿を促す	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用イノベーション	10 人や国が豊かになるように	11 住み続けられるまちづくりを	12 つぶやみをつくらせよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な世界を	17 パートナーシップで目標を達成しよう
・親の立場になったときのために事前に資金を貯蓄しておく+収入が安定した職に就く ・他地方にアクセスがしやすいか調査したうえで居住地を決める	●			●													
教員を目指している訳ではない私が取り組める行動としては、世界の教育状況を詳しく知り、教育系のボランティア活動などに参加していくことだと思います。				●			●	●			●						
ゴミをなるべく出さない。ユニセフなどの団体に募金や寄付をする。	●	●											●	●	●		
海洋ごみのほとんどは陸上から出たごみが海に流れていったものなので、まず自分がポイ捨てなどをしないことと道にごみがあれば拾ってごみ箱に捨てることを心がける。																	
フェアトレード商品を積極的に買う、差別の背景などを知り、差別に流されない意思を持つ。	●				●					●						●	
すべての子供に教育の機会：大学の授業や課外活動を通して、現状を把握しボランティアを行う。子供や中等教育を受けることが出来なかった人に大学の施設を提供し、自主室など快適な勉強環境を作る。また、大学生が無償で教育を行う。				●													
ごみの分別をしっかり行う・マイバッグやマイボトルを使う・電気をこまめに消す・水を無駄に使わない・食べ残しを減らす・公共交通機関を利用する・リサイクルを意識する・必要以上に物を買わない						●	●					●	●	●			
私にできる解決策として、食べ残しを減らしたり、節電やリサイクルを意識して資源を無駄にしない行動を続けたい。 また、環境問題について学び、周りの人にも関心を持ってもらえるように発信していくことも大切だと思う。							●					●		●	●		
フェアトレードの商品を買うこと。発展途上国で働く人たちが正当な給料をもらえるようになり、生活を支えることにつながるから。また、スーパーなどで募金の箱を見つけたりしたら少しでも募金に協力する。	●	●															
再生可能エネルギーや環境問題について積極的に学び、日常生活の中で省エネを意識した行動を継続することが重要であると考えました。資源を循環させるためにリサイクルやリユースを徹底し、清掃活動のボランティアなどをしていきたい。ボランティア活動してみたいと思っていますので、この講義を気に沢山調べ自分がやりたいボランティア活動をやりたい							●				●	●	●	●	●		●
ゴミの分別や、エコバックの持ち歩きを徹底するなど、生活でSDGsを意識する。														●	●		

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 質の高い雇用を創出	3 健康と長寿を促進	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等をすすめる	6 きれいな水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用イノベーション	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つぶやみを減らそう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
ネット社会でも影響のあるクラウドファンディング																	
自然や海を守るために環境に良いものを使ったり、マイバッグのようなゴミがでないようにする。バイトでは、ゴミの分別をしている。	●													●	●		
細かいところですが、運転する際に、急ブレーキ、急発進をしないなど。自分自身で太陽光発電を設置するなどではできないので、CO2をなるべく排出しないように気を付ける。	●		●				●				●						
節電やゴミの分別、リサイクル、再利用、ポイ捨てをしない、食品ロスを減らすといった身近なことから取り組んでいく。また、SDGsについての理解を深める。		●					●				●	●	●				
詰め替え商品や再利用できるものを選ぶ。使い捨てを減らす。ごみの分別、ポイ捨てしない。ボランティア活動に参加する。												●					
ごみの分別をしっかりするだけでなく、フリマアプリを利用し、まだ使えるものは出品して次の所有者を探す。												●	●				
スーパーに買い物に行くときは、何を買っていつまでに使い切るのかを計画して買う。食料自給率が低いので国産のものを多く消費すること。		●		●	●					●						●	●
レジ袋を購入せず、エコバックを使用する 自家用車に乗らず、公共交通機関を使用する											●		●	●	●		
バイトで出るごみを減らす。一人暮らしなので、無駄なごみをできるだけ減らす。	●	●	●														
自分が理解している部分を周囲に共有する。地域の仕事や福祉について学び、地元で買い物をして地域経済を支えることができる。また、ボランティア活動に参加し、働きやすい社会づくりに関心を持つことも大切である。	●	●	●					●	●		●	●				●	●
身の回りのできることといえば無駄なく需要のあるものだけを購入したり、廃棄が減るようにできるだけ割引のされていたりする食材などを買う。できるだけ電化製品などを使わず、二酸化炭素排出をできるだけ防ぐ。							●				●	●					

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 健全なエネルギー	3 健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等をすすめる	6 きれいな水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用革新をすすめる	10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促す	11 住み続けられるまちづくりを	12 つぶやみを減らし、持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正で包摂的な社会を	17 パートナーシップで目標を達成しよう
環境に配慮した行動を心がける、資源を無駄にしない。教育や学びを大切にする。	●																
個人でできる活動として、ボランティアに参加することが挙げられます。現在、非行のからの立ち直りを地域で支える民間ボランティアが活動しています。また、若手のメンバーを中心に活動しているグループも存在するため、(微力とかのレベルですらないが)何かしら困っている青少年の助けになれるかもしれないと思っています。	●	●	●	●							●					●	
日頃から電気や水道、エアコンのつけっぱなしなど、日常生活の中から資源を無駄にしていると感じる場所から気をつけていく。							●						●	●			
周囲が相談しやすい雰囲気をつくり、正しい情報を共有できるようにする。将来は、一人ひとりに寄り添った支援を心がける。			●	●	●					●							
サークルやバイトにおいて、先輩が「〇〇に挑戦してみたいや、〇〇させてください」と言ってきたとき、すぐに無理と否定するのではなく、話を親身になって聞いてあげ、自分にできる範囲でのサポートをしてあげたり、一緒になってさらに上の人に相談してみたりする。上からいわれたことだけをやるような人にはならないようにしたいし、させないようにもしたい。これは、職に就いてからも意識していきたい。								●		●							
無償で教育を受けられるようにボランティアに参加する 林業従事者の減少の原因を調べ、世間に周知する	●			●							●		●		●		
3Rのような日常の細かな分別をする。交通整備されていないところは気を付けてわたる。身体的不自由な方に積極的に手を差し伸べる。ボランティアに協力する。			●			●							●	●			
森林破壊を防ぐために環境の優しい企業の商品を選ぶ。森林認証製品を選んだり、環境団体への募金や支援。ペーパーレスを進めるために電気書籍を購入する。													●		●		
特にアルバイト先で紙やプラスチックの食品の分別、廃棄の食品を出さないようにお客様に売り込む ・将来それ関係の仕事についた場合、市や県に設置するごみ箱の数を増やす							●						●				
・地域付き合いを行い、お互いに助け合うことのできるネットワークを構築する。 ・生活に関わる制度や知識を自ら学び、人と話し合うことで知識を広げていく。 ・豊かであり続けるために、無駄遣いを減らす。ご飯は残さないように食べきれる量を選び、使わない家電や電気の電源は消して節電を行う。		●	●	●													
不登校児への平等な教育に関して。定年退職となった教員や、教育免許の取得を目指している学生たちによるボランティア活動。学生たちにとったらガクチカにもなるし、実際こどもに教えるという経験を積むことができる。	●			●							●						

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と長寿を促そう	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用革新を加速させよう	10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促そう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つぶやみを減らそう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正な社会と法をたもたせよう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
食品ロスに関しては自分自身の食べ残しがないようにすることや飲食店の企業ならば余ってしまった食材の有効活用	●	●						●				●					
SDGsは、一部の人間だけではなく、私たち一人ひとりの行動によって達成に近づいていくものだと思います。これからも、自分にできることを考えながら行動していきたいです。																	
国境なき医師団の募金に協力したり活動をSNS等で拡散する。	●	●	●			●			●	●							
持続可能な森林経営を実現するために募金などの支援をする。貧困の子供たちを支援する団体に参加し、現状の貧困の子供たちへの理解を深め、それに寄り添った活動をする(勉強や食事の提供)	●	●			●					●		●		●			
フェアトレードの製品を買う 募金やボランティアに参加してみる	●						●	●	●		●					●	
療育スクールのボランティア、更生保護施設への教育(パソコンスキルや数学を教えたり...) 通信制高校のアルバイト				●							●						●